

(別紙1)

自己評価及び外部評価 結果

作成日 平成23年3月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2774900530		
法人名	有限会社 イツキケアサービス		
事業所名	ぐるーぷはうす なごみ		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府 富田林市 東板持町 3-15-5		
自己評価作成日	平成23年1月15日	評価結果市町村受理日	平成23年3月31日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp/
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人評価機関あんしん
所在地	大阪府岸和田市三田町1797
訪問調査日	平成23年2月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・「その人らしさを大切に」を理念に、普通の家での暮らしに近づけるよう、ゆったりとした生活を心がけています。</p> <p>・自発的、主体性をもって送れるよう見守り、支えあえながらお世話させていただきます。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>純和風、木造2階建ての民家をグループホームとして利用しているため、グループホームだと言われてもわからないくらいに周りの住宅と完全に溶け込んでいる。利用者数は1ユニット6名と小規模である。居間、食堂などの共用スペースや各居室は清掃が行き届き、一日を気持ちよく過ごせるよう努めている。自治会に加入し、隣家へ回覧板を回す役割を利用者に任せていたり、毎週水曜日に集会所で開催される「ふれあい喫茶」に利用者とともに参加するなど、地域と事業所の関係づくりに努め、利用者も近隣住民と顔なじみとなっている。また、家族の協力を得て叡福寺への花見、日帰り温泉旅行、古墳公園への遠足などの外出をしたり、PL花火鑑賞、地域の盆踊り、だんじり祭見学など季節ごとの地域行事への参加見学を事業所の年間行事に取り入れている。</p> <p>利用者家族に対しては、毎月「なごみだより」を発行し、事業所での暮らしぶりや活動内容などを写真を交えて報告している。また年1回(12月)は、家族宛にアンケートによる満足度調査を実施し、多くの家族から返信が寄せられる。内容等は、職員間で共有し、日頃のサービスに反映できるよう取り組んでいる。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を玄関に掲げ、利用者様1人1人の目的に沿い安心して暮らしていただける環境作りをしています。	事業所開設時から「その人らしさを大切に、自発的、主体性をもち支えあう」を基本理念として、新人研修時はもちろん、毎月の定例会議や日々の業務の中で、管理者と職員はその共有に努め、実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の公園の草引きやふれあい喫茶への参加や回覧板を利用者様と回したりして地域の一員として交流しています。	自治会に加入し、回覧板を利用者が隣家に届けたり、町内の清掃活動や毎週水曜日に集会所で開催される「ふれあい喫茶」に利用者とともに参加することで地域とのつながりを保つ取り組みが見られる。また、敬老の日に隣近所に赤飯を配る取り組みも行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会行事の公園清掃にも利用者様と参加し地域の方にも支援方法等を理解して貰う様に努力しています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状は、おおむね6ヶ月に1回の開催をしているが、もう少し頻度を上げるよう努力をしていきたいです。	運営推進会議の開催回数が少ない。また開催時の参加者も事業所関係者、利用者家族代表、地域包括支援センター職員に留まり、地域の住民代表者の参加が見られない。そのため、日頃から地域と繋がりをもっているにもかかわらず、地域における事業所のかかわりが十分に伝わっていない側面が見られる。	運営推進会議は2ヶ月に一回程度の開催を目標とし、さらに地域住民の代表者への参加の呼びかけを継続し、会議に参加してもらえるような取り組みが望まれる。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	利用者様の諸申請や書類の提出。また、疑問点の相談等にも行っています。	市担当者とは日頃から制度上の相談事等で連絡を取り合っている。また平成23年1月より、富田林市が主催で「ぴあ介護相談員三者連絡会」が始まり、市内の事業所8ヶ所それぞれの代表者と市の担当者3名ほどが介護相談員とともに参加している。ここでは日頃の相談員活動を通じて出された報告・情報提供・提言などを意見交換し、情報の共有を図っていて、当事業所職員も参加している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関や内扉は原則として、日中は施錠せず自由にして貰っている。なお、徘徊等リスクの高い利用者さんについてはご家族の同意のもとに施錠しています。	玄関扉には開くとチャイムが鳴る設備を設けていて、原則として日中は施錠していない。身体拘束に関する研修は年1回実施し、全職員を挙げて身体拘束ゼロを目指したサービスの提供に取り組んでいる。		

7	<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設外研修で学び、虐待のない介護を学んでいる。また、なごみにおいて虐待は全てにおいて行っていません。</p>		
8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>施設外研修で権利擁護に関する制度を学び、実践に活用できる様にしています。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用の際、専門用語は使わずゆっくりと話し、理解・納得を得れる様にしています。</p>		
10	6 <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>広報なごみだよりで問い掛けたり御家族が来宅された際にも聞き取りをしています。</p>	<p>家族の訪問の際や毎月発行している「なごみだより」で意見や要望を聴取するほか、年に1回（12月）、返信用封筒を同封し各家族へアンケートを送付し、要望や意見を聞く取り組みを行っている。返信率は高く、多くの家族から意見等が寄せられている。内容は職員に伝えられ、日々の運営に活かされている。</p>	
11	7 <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>常に直接話を聴いたりアンケートを取り、また月1回の会議では全スタッフの意見を聞き反映させています。</p>	<p>毎月の定例会議を始め、年に1回の社長との1対1の面談時に、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。職員の提案等は運営に反映され、主に行事の企画等で活かされている。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は年に1回全スタッフとの個別面談を行い聞き取りをしストレス等の軽減を図っています。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎年、各自最低1回は施設外研修に参加し、また毎月1回を目標に施設内研修を行いスキルアップを図っています。</p>		

14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市の施設会に加入や介護相談員の受け入れをし、また管理者は月に1度をめどに同業者と交流をしています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御本人や御家族も含め、話を傾聴し聞き取りながら信頼関係の構築に努めています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>御本人や御家族も含め、話を傾聴し信頼関係の構築に努めています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>インテークやアセスメントを充分に行いニーズを理解する様に努めています。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>御本人の出来る事を職員と共に行い共同生活を実感して貰うよう努めています。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>生活状況を報告する等、連絡を密にし、来宅時には御本人と一諸に食事して貰う等誠心誠意を持って対応しています。</p>		

20	8	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	スタッフと一緒に行きつけの散髪へ行くなどして関係が途切れないよう努めています。	馴染みの美容院に職員が同行している。また、毎週水曜日の「ふれあい喫茶」への参加も馴染みの人との関係を保つのに一役買っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	少人数なので利用者同士の関わりが少ないですが、スタッフがお手いして利用者が共同で作業が出来るように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、自宅へ訪問してお話を聞き相談させて貰ってます。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションを通じて信頼関係の構築を図り、思い・希望等の聞き取りに努めています。	利用者の希望や意向は日々のケアの中で把握するように努めているが、困難な場合などは外出時や入浴時など気分が開放的になるときを見計らって聞き取るよう工夫をしている。聞き取った情報は連絡帳で申し送りをするほか、定例会議等で報告し職員間で共有できるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	御本人、御家族、関係者との信頼関係を築き情報収集の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	【御様子】 【出来る】 【出来ない事】 【特変】 等、関心を持ちお一人様毎のケア記録へ詳細に記入しスタッフ間の情報の共有を図っています。		

26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族が来宅された時や電話連絡の際、スタッフと話し合い、その人に合ったケアプラン作成をしています。	ケアカンファレンスには家族、ケアマネージャー、介護職員その他、訪問看護師が参加し、家族の意向や希望、また専門職それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。必要に応じて、かかりつけ医にも電話により意見を求めることとしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者毎に細かく記録し情報の共有を心掛けケアプランの見直しにも活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	年間行事以外でも外出する等利用者様の生活にメリハリをつけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の人達との交流の場ふれあい喫茶や町内会行事の参加。また回覧板を回して頂くなど地域資源を活用しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週月曜日、歯科医、水曜日ドクター。毎週金曜日、訪問看護師の往診。必要時は他医療機関への紹介状も出して貰っている。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医に家族同行で受診している。不可能なときには職員が同行しており、受診時の通院介助の方法、伝達方法については家族等と話し合い、合意がされている。受診結果の報告などは、職員が業務日誌に記録し、情報を共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	毎週金曜日の訪問看護師に利用者毎に記録して貰い、バイタルは曜日に関係なく随時確認してもらっています。		

32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	御家族様・ドクターとの話し合いに同席し情報の共有交換をし、時間を作りこまめに病院へ出向いています。		
33	12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所作成の看取り指針に基づき重度化前に話し合いの場を設けています。また、スタッフとはマニュアルを作成しチームケアに取り組んでいます。	看取りは平成14年から行っている。病状が進み重度化のおそれがある場合、看取り指針に基づき、主治医を交えて家族等と話し合いの場を持ち、同意書を交わして方針の統一を図っている。終末期には医師や看護師と24時間の連絡体制をとり、事業所としての支援に取り組んでいる。	
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訪問看護師主催の勉強会を実施。また緊急連絡先も目の付く場所に掲示している。今後は定期的に勉強会を催して行きたい。		
35	13 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難通路の確保・避難誘導介助・連絡・初期消火など年2回の昼夜訓練を行っている。	年2回の自主訓練（昼夜想定）を実施しているが、消防署の協力は得ていない。米、缶詰、乾物などを一週間分程度備蓄している。しかし、地域との協力体制については、十分な話し合いは行われていない。	少なくとも年に1回は、消防署の協力を得て、消火器の使い方や、災害発生時の対応にかかる指導を仰げる消防訓練をすることが望まれる。また、運営推進会議等を通じて、地域との協力体制を構築し、災害時に地域の協力が得られるよう話し合うことが望まれる。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14 ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	”御本人が出来ることは自分でしてもらい、出来ない事をスタッフが介助する”の考えを実践します。	トイレ誘導時などは、できる限り利用者のプライドを損ねない声かけをするよう職員に指導している。また年に1回はプライバシーに関する研修会を実施している。個人ファイルなどは食堂内にある簡易ロック式の書庫に保管している。	
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	信頼関係を構築し、話しやすい環境を作って、自己決定して頂ける雰囲気を作っています。		

38	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆったりとしたペースで御本人と関わり、”その人らしさを大切に”を大事にして行きたいです。		
39	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	翌日着る服を選んで貰ったり、髭剃りや身だしなみを重視するよう努めています。		
40	15 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理・片付け等出来る事をスタッフと一諸にしています。	食事は職員が献立を作成し、その都度食材を購入している。不足分は利用者と近隣のスーパーマーケットへ買出しに行く。職員は介助をしながら利用者と一緒に同じものを食べている。また、鍋やお好み焼きなどを年に各3～4回取り入れるなど、食事形態に変化がもてるようにしている。誕生日会やクリスマス会などの行事食や、年に2回程度は外食にも出掛けている。	
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	偏った食事やメニューにならないように努め、嚥下困難な方にはトロミやミキサー食で対応しています。		
42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアや週2回に薬剤で清潔保持をし、毎週月曜日には歯科医にて口腔ケアもしています。		
43	16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	決まった時間だけでなく、御本人の排泄パターンにのって誘導するよう努めています。	利用者は1階に1ヶ所あるトイレを利用している。日中は全員が1階の居間で過ごしているため、順番にトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。夜間は2階に居住する利用者については、階段に設置された昇降機を利用しなければならないので、各居室内のポータブルトイレでの排泄となっている。	

44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向にある方には、食事内容を考慮し、水分補給に勧め、軽運動も行える様、支援しています。		
45	17 ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には入浴曜日を決めているが、入浴順番は決めていない。その日の体調に応じて入浴して頂いています。	基本的には月、木、土の午前10時から午後9時までの間と曜日、時間帯を決めてはいるものの、希望により他の曜日でも入浴可能である。また同性介助による対応を行っている。	
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時間に応じてや、活気・表情等を見極め休んで頂く様にしています。		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬表を整理し、スタッフ全員がいつでも確認出来る様にしています。薬剤師を招いた勉強会を催すよう検討しています。		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	単調な日々にならぬ様に生活リハビリを中心に行うよう努めています。		
49	18 ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	天気の良い日は、散歩や外気浴をして頂き、レストランへ行ったり馴染みの理容店にも行ける様にしています。	日々の散歩や「ふれあい喫茶」、また近隣のスーパーマーケットや「道の駅」への買い物や食事などに出かける他、季節ごとに、花見、盆踊り、PL花火鑑賞、だんじり見物等々家族の協力を得ながら、外出の支援に取り組んでいる。	

50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物や、理容店に行った際御本人にお金を渡して支払いをして頂き、お釣りも直接貰える様に努めています。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>スタッフから御家族への報告の際、御本人と電話して頂けるよう努力しています。</p>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関に季節の花やリビングには、雛人形を置き季節感を取り入れ、また清掃や消毒も踏まえ清潔保持にも努めています。</p>	<p>居間、食堂、脱衣室、トイレ等共用スペースは大変清掃が行き届き、清潔感が溢れている。居間は日当たりが良く、金魚水槽、テレビ、ソファ等があり、日中、ゆったりと過ごすことができる。食堂は、食事時以外でも利用者が自由に使用できるように開放されている。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>決まった場所では無く、いつでもどこでも自由にして頂ける様な雰囲気作りに努めています。</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は常に清潔と整理整頓を心掛け、御本人が使用していたなじみの物を置くようにしています。</p>	<p>居室は整理・整頓が行き届き、清潔感がある居心地の良い場所となっている。天気の良い日は日中、窓が開け放され、いつも気持ちよく過ごせるよう室内の乾燥、防臭に努めている。事業所が提供するのにはベッドのみで、タンス、テレビ、鏡台、時計など利用者が馴染みのものを持ち込んでいる。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>場所の表示をし、出来る限り分かる様にしています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない

62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない